

# ③花曇りの向「う」

## 解説プリント

瀬尾まい「

### 【今回の授業の目標】

自分なりの題名を付けるときの3ステップを学ぼう

#### 【1】作品中に何度も出てくる言葉やキーワードを探す

○今回の作品の中で何度も出てきたり、キーワードとなったりしている言葉は・・・

①「梅干し」・・・ばあちゃんが「梅干しは何でもなおす」と言っていたことが本当になった

②「花曇り」・・・うまくいかないことの象徴

③「川口君」・・・僕に話しかけてくれる子

などが思いつくのではないだろうか。（他にあっても構いません）

#### 【2】キーワードを自分の言葉にしたり、主題と関係するような言葉にしたりする

○例として、先ほどの言葉を違う言葉や主題に合った言葉に直してみます

①「梅干し」・・・万能薬

②「花曇り」・・・いつかは晴れる

③「川口君」・・・未来の友達

#### 【3】読み手を引き付けるような言葉にする

○最後に、読み手を引き付けるような言葉にします。

読み手は最初に題名を見ます。題名で引き付ける言葉を探しましょう。

（②で十分引き付ける言葉であれば、そのままでも構いません。）

例をあげると・・・

①「梅干し」・・・ばあちゃんの万能薬のキセキ

②「花曇り」・・・いつか晴れることを信じて

③「川口君」・・・未来の友達はすぐそばに

などとなります。みなさんは、どんな題名を思いつきましたか？

花曇りの向こうのプリントでなかなか題名が決められない人は、ぜひ参考にしてみてください。

また、読書感想文や、今後みなさんが文章を書く時に、題名を意識して書けることを期待しています。

